

「いらつしゃい、カリオベちゃん
今日も搾乳マッサージでいいんだよね？」

「…はい♡お手柔らかに…おねがいします…♡」

もわああ

「今日は二段と重いね」
しつかり搾ってあげないとね」

むぎゃ

た、ぶん、

「前に来たの二週間前だったよね？
こんなに早くまたカリオベちゃんに会えて
おじさんも嬉しいよ」

「出る量がどんどん増えてて
困ってます…♡」

母乳が止まらなくなっちゃったので
おじさん達に定期的に搾ってもらってる。

「おーすごいWバイスリしてるだけで
いっぱい出てくるねW」

「ほら、おっぱい搾ってもらったら
ちゃんと鳴かないと！」

「あゝ出る出るっ、カリオベちゃんのために
いっぱい溜めてきた精子出るっ！」

んもっ

んもっ

んもっ

んもっ

んもっ

んもっ

んもっ

んもっ

んもっ



「やっぱりまんこも一緒にマッサージしたほうがよく出るね♡
しっかり奥のほうまでほぐしておげるからね♡」

「すごい勢いw
もったいないから
バケツもってこなきゃ」

乱暴に扱われてるのに
気持ちよくなっちゃう…♡

「あー、まだ出る♡
ほらもっと先っぽから吸い上げてっ♡
気持ち良すぎて魂もでそう♡」



「ふう…出した出した、
せっかく溜めた精子だから
しっかり味わってから飲んでね♡」

あ…ヤベ♡でちゃう…♡

「…ちよっとおじさん我慢できそうにないから
これからもっと激しくするけどいいよね？」

「はる…♡おねがいます…♡」



「ヤベヤベ♥イツく♥イクツ、イクツ♥
んもっ♥んもおおおおっ♥」

「母乳まき散らしながらイクの
エロすぎでしょ!」

これヤツベ♥おっぱい搾られながら
イクのクセになっちゃううう♥

「おらっ!マゾ牛まんこ種付けするぞ!
孕めっ♥♥♥」

「んもおっ♥ほおおおおっ♥イグイグっ♥
孕まされちゃうっ♥おじさん専用の家畜まんこ
になっちゃうううっ♥♥♥」





